

with smile

東京2020 オリンピック・パラリンピック
ご自宅からの応援ありがとうございました 号

特集 東京2020パラリンピック
ホストタウン札幌 ×
カナダ・女子ゴールボール選手団

「スマイル・アスリート」

競泳

種田恵さん

事務局からのお知らせ

スマイルアスリート

競泳 ^{たねだ めぐみ} 種田 恵さん



競泳との出会い

2歳からベビースイミングを始めて、中学生・高校生のときのスイミング（イトマン宮の森）のコーチや学校の先生方（札幌大谷高校）との出会いが、私の水泳人生の最初の転機となり、北海道での活躍を支えてくれました。その支えが、その後の全国大会や日本代表として出場する世界大会につながっています。

現在は、小学校での講演や水泳教室等の活動をしております。水泳指導はとても楽しく、特に出身地、北海道での水泳指導は嬉しく、北海道から全国や世界で活躍する選手を期待しながら行っています。

びっくりエピソード

高校生の時、冬にオーストラリアに遠征に行きました。出発した日の札幌は、マイナス10度くらいで、オーストラリアに到着した日は40度ほどあり、温度差50度!!体調管理が大変でした。

ボランティアへの思い

水泳の大会でも、本当に多くのボランティアの方に協力していただき、大会が成立していると思います。大会を支える多くの方のおかげで、競泳ではほとんど遅れることなく競技が進行されます。予定通りに進行していただくのおかげで、日頃の練習の成果を発揮することができと思っています。

競技に臨むにあたってのリラックス方法

試合の時には、いつもバラードのような曲でリラックスしていました。アップテンポな曲は緊張が増してしまうので、ゆったりした曲を聴いて心を落ち着かせていました。試合の直前は、会場の音、周りの音を聞くのが良くて、曲は聞かずレースに行っていました。練習中にかける音楽もバラードのような音楽が好きでした。

アスリートからの挑戦状

競泳・リレー種目の引継ぎのリアクションタイムはマイナスでも失格にならない？
※解答は3ページ下にあります。

9月5日、東京2020パラリンピック競技大会が閉幕しました。札幌市がホストタウンとして事前合宿をサポートした、ウクライナ男子ゴールボールチーム、カナダ女子ゴールボールチームも大健闘を見せました。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、残念ながら選手との交流会やゴールボール体験会は中止されましたが、市立札幌開成中等教育学校の生徒が作成したうちわを宿泊先にセットしたり、北海道札幌視覚支援学校の子供たちによる応援ビデオメッセージの放映会を行ったりして、選手団をおもてなしました。

今回はカナダ女子ゴールボールチームの11日間に及ぶ札幌滞在に同行した、SGSCスタッフ石井さんにお話を伺います。

カナダ・ゴールボールチームが来札するまでに、どのような準備をしましたか。

選手団が万全の状態で行くパラリンピック競技大会に臨めるよう、練習、試合環境の整備や宿泊施設との調整を中心に準備を行いました。

また、国の示した方針に基づいたコロナ対策の準備が、コロナの情勢等によって必要なコロナ対策が変わってきてしまうため、対応に悪戦苦闘の毎日でした。何事もなく終えられたことに感謝しかありません。

来札からパラリンピック開幕直前までの2週間、選手団に同行していましたね。1番大変だったことは何ですか。

コロナ対策の一つである毎日PCR検査の結果を待つ時間がとても憂鬱でした。それ以外で大変だったことと言えば、言葉が通じないのでコミュニケーションを取ることが大変でした。

逆に嬉しかった・楽しかったことを教えてください。

練習最終日にカナダ選手団からお礼を言われた時は本当にうれしかったです。勿論、一人ですべてを準備したわけではないですが、業務に当たった全員の時間が報われたような気持ちになりました。また、カナダ



選手団を無事選手村へ送り出せた時にはこれまでにない達成感を味わうことができました。選手団からゴールボールの体験をさせていただいたのもとても楽しく、良い思い出です。

日々の練習や日本ゴールボールチームとの親善試合を目の前で見守りました。石井さんから見た、ゴールボールの魅力は何でしょうか。

視覚を絶っているからこそ、普段とは比にならない程の集中力を要するスポーツであることが、自分自身で経験してみて感じました。

選手全員が1つのボールを止めるため、また、点を取るために考え、仲間を信頼して精一杯プレイする姿は他の競技にない魅力であると思います。

(ホストタウンとしての)札幌市のおもてなしに対する、選手たちの反応はいかがでしたか。

滞在中には札幌市のスイーツや日本文化の浴衣、甚平をプレゼントいたしました。日本文化に触れたことの無い方も中にはいたため、浴衣を着て夕食を食べたことにはとても喜んでいました。

◀ 札幌滞在最終日に、カナダ選手団に浴衣と甚平をプレゼントする石井さん(写真左)

事務局よりお知らせ

冬季オリンピック名シーン投票キャンペーン

札幌オリンピック50周年記念事業実行委員会 12月24日まで

来年2022年、1972年に開催された札幌オリンピックが50周年を迎えます。札幌市は、記念事業として、冬季オリンピックの名シーン投票キャンペーンを実施しています。

キャンペーンへの参加は、特設Webサイトから (<https://sapporo-olympic50th.com/>)。名シーン一覧より1枚を選んで投票できます。投票していただいた方には、抽選でQUOカード5,000円分や記念グッズ、特別賞として札幌オリンピック50周年記念セレモニーの招待券をプレゼント！

さらに、北海道オール・オリンピアンズのFacebookやInstagram、Twitterアカウントをフォローすると、当選確率がUPします。ぜひ、投票してみてくださいね。

北海道オールオリンピアンズのSNSアカウント

Facebook @hokkaido.all.olympians
Instagram @hokkaido.all.olympians
Twitter @all_olympians

札幌冬季オリンピック 名シーン投票キャンペーン



イベント・大会開催情報

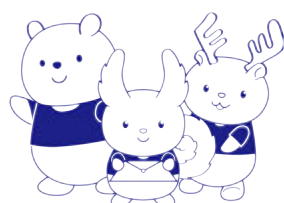
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況による変更の可能性あり

- 9月11日(土) モエレ沼あおぞらマラソン
9月12日(日) (札幌市モエレ沼公園)
中止決定
- 9月14日(火) サイクルフェスタ・恵庭
~ (恵庭市内)
9月30日(木)
- 9月19日(日) モイワ・ヒルクライム
(札幌藻岩山スキー場)
- 9月25日(土) 北ガスグループ6時間リレーマラソン in 札幌ドーム (札幌ドーム)
中止決定
- 9月25日(土) ニセコクラシックレース
(倶知安町・共和町・蘭越町・ニセコ町)
中止決定
- 9月26日(日) 富良野トレイルラン&ピクニック
(富良野西岳)
- 10月3日(日) 札幌マラソン
(真駒内セキスイハイムスタジアム)
中止決定

今後の活動予定

新型コロナウイルス感染症の拡大により、札幌市では9月12日(日)まで緊急事態宣言が発出されています。また、不要不急の「外出自粛」と「札幌市との往来自粛」が先月に引き続き要請されています。道内スポーツイベントの中止も相次いでいるため、スマイル・サポーターズの派遣を休止いたします。

感染力がより強いとされる変異株も発見されています。今一度、「こまめな手洗い」、「手指の消毒」、「不織布マスクの着用」といった基本的な感染防止対策を見直し、ご自身と周囲の人たちの健康を守っていきましょう。



参加してみたい研修会や特集のテーマはありませんか? EメールまたはFAXで、お気軽にご連絡ください。

✉ spovol@sgsc.jp
Fax 011-200-0314

さっぽろグローバルスポーツコミッション
011-200-0905

アスリートからの挑戦状の答え: -0.03秒までは失格にならない